

図書だより

平成30年度第3号7月2日(月)発行
五所川原農林高校図書委員会

【第2回目 新着本を紹介します】

書籍名	著者名	出版社	内容
わたしがいだんだ戦い 1939年	キンバリー・ブルバイカー・ブラッドロー	評論社	☆読書感想文課題図書☆ 足の悪いエイタは母から疎まれていたが、弟と一緒に疎開したことから、理解者に恵まれ、心を開いていく。少女の戦いを描く感動作。
車いす犬ラッキー:捨てられた命と生きる	小林照幸	毎日新聞出版	☆読書感想文課題図書☆ 奄美群島・徳之島で仕事一筋、50を過ぎるまでペットと無縁の人生を送ってきた男が、一匹の捨て犬との出会いをきっかけに、周囲も驚く愛犬家として成長してゆく。
いのちは贈りもの:ホロコーストを生きのびて	フランシーヌ・クリストフ	岩崎書店	☆読書感想文課題図書☆ 第二次世界大戦中、6歳でナチスのホロコーストを体験したフランス人女性の手記。アンネ・フランクと同じ収容所に移送された少女の見た風景が、人間のあり方を問う話題作。
カラヴァル深紅色の少女	ステファニー・ガーバー	キノブックス	カラヴァルとは年に一度、世界のどこかで開催される魔法のゲーム。今年の勝者は、一つだけ願いを叶えてもらえるという…少女の目の前に広がる、魔法と嘘に満ちた世界。恋に翻弄されながらも、真実を求めて成長する冒険ファンタジー!
友だち幻想	菅野仁	筑摩書房	「みんな仲良く」という理念、「私を丸ごと受け入れてくれる人がきっといる」という幻想の中に真の親しさは得られない。人間関係を根本から見直す、実用的社会学の本。
幸腹な百貨店デパ地下おにぎり騒動	秋川滝美	講談社	「迷わば進め」のハブル部長・伝治は絶品おにぎりを誘致できるか?堀内百貨店の「聖域」デパ地下に手を付けた事業部長の伝治は、人気おにぎり店に通うのだが……「なんでもあるのに欲しいものはない」デパートの未来は?

幸腹な百貨店 催事場で蕎麦屋呑み	秋川滝美	講談社	“大人気『居酒屋ぼったくり』の著者による「熱血」お仕事&グルメ小説!頼みの綱である催事場の売上げも落ち込み、依然閉店危機にある堀内百貨店。そんな折、事業部長の伝治は、酒売り場の後藤里美が接客の不安から、退社を検討していると耳にする…”
立ち直る力	辻 仁成	光文社	弱った心にじんわりとしみわたる温かな言葉が、ツイッター上で話題となっている。愛ある200のメッセージ集。
キノの子	鳥居歌集	KADOKAWA	目の前で母の自死、児童養護施設での虐待、ホームレス生活——。拾った新聞で字を覚え、短歌に出会って人生に居場所を見いだせた天涯孤独のセーラー服歌人・鳥居の初歌集。
セーラー服の歌人 鳥居 拾った新聞で字を覚えたホームレス少女の物語	岩岡千景	KADOKAWA	壮絶な生い立ちの中、過酷な運命に何度もくじけそうになりながらも、短歌に出会って人生に居場所を見いだせた天涯孤独の歌人・鳥居の半生を新聞記者が綴る。
クラシック音楽とは何か	岡田暁生	小学館	「音楽史の流れ」「モーツァルトとベートーヴェンの違いについて」などの、ありがちな項目から「うんざりするほど長い音楽について」「ワケのわからない音楽について」など、「クラシック音楽の本質と粋」を解説。
まんがの惣領主 信建—弘前城を造った男—	知坂 元	北方新社	400年間巧妙に隠蔽された弘前城築城の真実をあぶり出す。日本を代表する桜の名所弘前城、その歴史が今くつがえされる。
脳を強化したければラジオを聴きなさい	加藤俊徳	宝島社	怒りっ払い、記憶力の低下、ネガティブ思考…現代人の悩みを解決するカギは脳の「聞く力」にありました!
答えのない道徳の問題どう解く?	文:やまざきひろし	ポプラ社	「人数が多いほうが、正しいってどうして言えるんだろう?」「どうしてお母さんは、ボクの嫌いな勉強をおしつけてくるんだろう?」など、どう考えてどう答えたらよいか難しい問題ばかりを子どもから大人までみんなで考えました。

裏へ続きます⇒

警視庁生きものがかり	福原秀一郎	講談社	警視庁生活安全部生活環境課環境第三係—絶滅のおそれのある動植物の密輸・売買事件の捜査をする、この係を人はこう呼ぶ—「警視庁の生きものがかり」！警視庁にそんな部署あったのか！？はい、本当にあるんです！
池上彰の世界の見方 朝鮮半島	池上彰	小学館	日本人が学校で習わない韓国と北朝鮮の戦後史をたどり、なぜ竹島、慰安婦、拉致などの問題が起きて解決に至らないのか、そもそもの原因を明らかにする。日本はどう付き合っていけばよいのか、考えるヒントを池上さんが渾身解説。
まんがでわかる土と肥料 根っこから見た土の世界	村上敏文	農文協	土壌肥料と根の専門家である著者が「根っこ目線」「まんがでわかりやすく」「クスッと笑える」を基本コンセプトに描き上げた、まったく新しい土の本。
最強部活の作り方 名門26校探訪	日比野恭三	文藝春秋	各々の部を率いる指導者たちはどのようにして日本一の称号を得ていったのか。強い部活のつくり方から見えてきた、勝てる組織の法則とは。スポーツ全般はもちろんビジネスシーンでも役に立つ一冊。
一輪咲いても花は花	古川智映子	津軽書房	大正八年暮れ鎌倉での葛西善蔵と浅見ハナ(おせい)との出会い。昭和三年の死までの、あまりに悲惨な作家生活。苦しみもがく作家魂を同じ津軽出身作家が望郷の思いを込め書き上げる。
いつもの食材で作れる 体にいいおかず	ベターホーム協会	ベターホーム協会	食材がもつ、体によいさまざまな働き。その働きを知って、食事にとり入れ、毎日をいきいき過ごしませんか？この本で使うのは「ふだん家にある食材」だけ。だから、思い立ったときにすぐに作れます。
美しい日本の蝶図鑑	工藤誠也	ナツメ社	日本で見ることのできる蝶、230種の生態と観察のポイントなどを美しい写真とともに解説した一冊です。筆者は弘前市出身の「昆虫少年」。

広辞苑を3倍楽しむ その2	岩波書店編集部	岩波書店	各界で活躍する著者たちが広辞苑から選んだ言葉を話のタネに、科学にまつわるエッセイと美しい写真で描きだすサイエンス・ワールド。
イザベラ・バードと日本の旅	金坂 清則	平凡社	英国の女性旅行家イザベラ・バード(1831~1904)は、1878(明治11)年に日本を訪れ、その旅行記『日本奥地紀行』は多くの読者に親しまれている。バードの生涯と日本の旅に焦点をあてた力作。
農家が教える光合成細菌とことん活用読本	農文協	農文協	熱帯魚屋さんなどで目にする水質改善などと書かれた赤い液体、それが光合成細菌の菌液。光合成細菌の素顔、高価な元菌を自分で採取・増殖する技、使い方まで集大成。
農家が教える石灰で防ぐ病気と害虫	農文協	農文協	全国で話題、「石灰防除」のすべて。石灰はなぜ効くのか？石灰とはどんな養分なのか？資材の種類と特徴は？石灰(カルシウム)施用による誘導抵抗性の発現など最新の研究成果も収録。
将棋から学んできたこと	羽生善治	朝日新聞出版	天才棋士・羽生善治がこれからの道を歩む若い人に向けて語った「力を伸ばすプロセス」「挑戦する姿勢」「正解なき道の歩み方」「才能よりも大事なこと」など珠玉のメッセージ。
インターネットは自由を奪う——〈無料〉という落とし穴	アンドリュー・キーン 著、中島由華訳	早川書房	グーグルやアマゾン、フェイスブックなどのIT企業により、生活は便利で快適になった。その一方で、既存産業の破壊、顧客トラブル、個人情報流出などの問題も多発している。これからのインターネットと社会のあり方を探る、メディアおよびIT業界で議論を呼んだ警告の書、ついに翻訳。



読書感想文課題図書
入荷しました！今後は
進路に役立つテキスト
も入荷。来週第4号をお
届けします！